

2007年2月16日発行

<http://www.yokosan.info/index.htm>

〒238-0006 横須賀市日の出町2-9 046-823-0210 (内線433)



住民投票条例案否決!

原子力空母母港化の是非を問う住民投票条例案は、2 / 8、賛成10対反対31で否決されました。

この間、成功させる会や阻止連では、新聞紙上への「意見広告」(読売、神奈川)、市議会議員への要請八ガキ、市議との地域懇談会(市内8箇所)、中央駅Yデッキでの毎日曜宣伝、1月27日の市民集会(市議7名参加・メッセージ1)を始め、市議宅周辺宣伝行動、神奈川土建の市議宅訪問など、多彩な活動を展開してきました。

土建の市議宅訪問活動では、「安保は憲法の上にある」と発言した保守系市議もいたそうです。

また2月4日(日)には、市民400名がウェルニー公園に集まり、署名数の41591を人文字でつくる取り組みが行われ、朝日新聞がヘリコプターからの撮影を行うなど、マスコミ各社が報道しました。条例案は否決されましたが、東京新聞などのマスコミでは、基地の街での取り組みを肯定的に取り上げていました。

旗開き大成功! 「元気が出ました」の声多数!

恒例の旗開きは、1 / 18 (木) 32名が参加しました。人数は少なかつたものの、横須賀市民九条の会青年部の皆さんが5名参加され、若者らしいリアクションで雰囲気がおおいに盛り上がり、旗開きは大成功しました。

青年の皆さんは、5月20日に三笠公園に横井久美子さんを招いて開催される「ROOTS9」を成功させるため、出来たばかりの缶バッジ2種類を1個500円で販売し、財政活動を展開しました。

アトラクションは、昨年引き続き、横須賀 DECICAの皆さんでした。バンドマスターの小泉君が昨年6月に急逝したため、事務局長が代わりに「広島のある国で」を熱唱しました。お次の「たんぼぼ」は、横須賀 DECICA専属ダンサーの呼び名も高いH幹事が踊りを披露、参加者の爆笑(失笑?)を買っていました。

最後の「がんばろう」の全員合唱は、年金者組合の伊東正子委員長にリードしてもらい、最高に盛り上がりました。

青年たちの多くは、二次会(隣の中料理屋=朝廷)にも付き合ってくれて、宴は夜遅くまで続きました。おぢさんたちは、若い女性とメールアドレスを交換しあって、喜んでいました。元東電の後藤さん曰く、「山本さんが『横三労連は楽しい』という意味がよく分かりました。」

Yokosuka Music Stand Vol.4も成功!

ビキニ被災50周年を記念して始めたYokosuka Music Standは、昨年からユニセフのチャリティ・コンサートとして取り組んできましたが、第4回の今年は、旗開きでお馴染みの横須賀DECICAの高橋さんを実行委員長に、2 / 11にYounger Than Yesterdayにて開催し、8バンドが出演、78名の参加で成功しました。ユニセフへは15,800円送る予定です。